

1) 第14 デイサービスセンターみのり運営推進会議の開催について

※今回の運営推進会議につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のために書面での照会と致します。

つきましては、ご多忙のところ大変申し訳ありませんが、3月末日までに「別紙回答用紙」へご意見・ご評価の記入及び返信のご協力お願い致します。

管理者

2) 利用登録者概要

令和5年3月1日現在

登録者数	18名（現在80%の登録があり残り10枠の空きがあります。）
介護度別登録者数	要介護1（5名）要介護2（2名）要介護3（5名） 要介護4（4名）要介護5（0名）
	要支援Ⅰ（1名） 要支援Ⅱ（1名）
ご利用登録状況	月（9名）火（9名）水（8名）木（5名）金（9名）

令和4年9月1日（前回6ヶ月前の状況）

登録者数	18名（現在82%の登録があり残り9枠の空きがあります。）
介護度別登録者数	要介護1（5名）要介護2（5名）要介護3（7名） 要介護4（1名）要介護5（0名）
	要支援Ⅱ（1名）
ご利用登録状況	月（9名）火（8名）水（10名）木（6名）金（8名）

3) 新型コロナウイルス5類感染症への移行についての対応

	2類（現在）	5類
診察	発熱外来、指定医療機関	原則は一般医療機関
行動制限	患者 最大7日間 濃厚接触者 最大5日間 就業制限 健康状態の報告が必要	なし
医療費	公費負担（無料）	当面は公費で検討
入院措置や勧告	あり	なし
ワクチン費用	公費負担（無料）	当面は公費で検討
マスク着用	屋内推奨	屋内外ともに不要、個人の判断
感染者数	全数を把握できるように報告義務がある（簡略）	点検把握

◆ サービス利用中の対応について

- ① マスク着用：5類に移行された場合も、サービス提供中は職員及びご利用者も今まで通りに着用して頂く、但しご入浴や食事などの時には会話を控えてマスクを外して頂く
- ② 席の配置：マスクを外す場面の食事などの場面では、間隔を空けて頂くが、他のサービス提供時には、通常の配置とする。
- ③ 消毒：5類移行後当面の間は、感染状況等を考慮しながら検討を行うが手指及び器具・車内などは、現状通りに対処する。
- ④ レクリエーション：感染者数等の状況を見ながら、徐々に通常のレクリエーションに移行する。
- ⑤ 送迎車内：基本的にマスク着用を継続して頂き、出来るだけ会話を控え、定期的な換気を行う。
- ⑥ 体温測定：継続してお迎え時の体温測定を行い、37.0℃以上の場合は、症状を確認して、ご家族等に受診や見守りをお願いし、基本的にはご利用を中止して頂く。

※ 感染者発生時の対応に関しては、今後の京都市（厚生労働省）等の通達に準ずる。

※ その他、状況に合わせた対応を検討する。

4) 誕生日会・行事・レクリエーション

【誕生日会実施状況】

(9月2名) (11月2名) (12月2名) (1月1名) (2月1名)

- ・食材費等の高騰が影響し中止も検討致しましたが、利用者様が楽しみにされているため、誕生日ケーキは継続して提供させて頂きました。
また、記念撮影と寄せ書きの色紙もお渡し致しました。
- ・利用者様と職員と一緒に歌を歌ってお祝い致しました。
- ・お誕生日会では、他のご利用者さんからのお祝いのお言葉を頂き、職員からもメッセージやお言葉をお伝えし、喜んで頂けた様子でした。
- ・誕生日会は、特別な日としてとても感動され喜んで頂けている様子です。

【行事・外出レクリエーション状況】

8月 ◆ 敬老週間（お膳、記念撮影等）

11月 ◆ 紅葉狩り（皇子山公園）

12月 ◆ 忘年会（思い出のスライドショー、ビンゴ大会、思い出話等）

1月 ◆ 初詣（岩屋神社）

※ 感染予防に配慮して、実施致しました。

※ 久しぶりの開催で皆さんとても楽しそうにご参加されておられました。

5) 研修・会議の実施報告

【研修報告】

9月：介護技術腰痛対策研修

※ ボディメカニクスのメリット

- ・利用者及び介護職員共に身体の負担軽減になる
- ・双方の心理的負担も小さくなる

1) ボディメカニクスを使った腰痛対策の説明

- ◆ボディメカニクスとは「最小限の力で介護ができる介護技術」の一つ
- ◆特に腰痛予防に効果的
- ◆ボディメカニクスの8原則

2) 実技による腰痛対策動作の確認及びディスカッションによる評価と感想

- ◆手引き介助歩行
 - ・ADLや歩行状態に合わせて介助方法を行う事で安全で楽に介助が出来ると感じた。
- ◆ベッドで背臥位から端坐位へ
 - ・重心移動や支点を考えて動かすことで、腰への負担を軽減することが出来た。
- ◆椅子やベッドから車椅子への移乗
 - ・互いの位置関係を考えて行う事で、重心移動がスムーズに出来た。
- ◆床からの立ち上がり時
 - ・膝を曲げて頂き、重心を低くして全身を使う事で自分より大きな方の立ち上がりも可能と思えるようになった。

10月：パワハラ防止研修

1) カスタマーハラスメントとは

- ◆利用者のご家族からもカスタマーハラスメントを受けることがある。
- ◆サービス形態による比率

2) カスタマーハラスメントが介護現場に多い3つの理由

- ◆利用者やご家族が介護職員は何でもしてくれると誤解しているから
- ◆介護施設側が利用者やご家族の要望を聞く姿勢だから
- ◆介護職員が少々のご機嫌は耐えなければいけないと理解しているから

3) カスタマーハラスメント防止と対策

- ◆利用者のご家族に安心感を与えるように意識する
- ◆ハラスメントに対するマニュアルを作成する
- ◆利用者やご家族にもハラスメントに対する内容を周知する

※ハラスメントのない職場を目指すためには、どのような行為がハラスメントに該当するのか、何が行われると契約解除に繋がるのかなど、詳しい内容の理解を職員や利用者、ご家族に周知することが重要

12月：リスクマネジメント研修

1) 事故防止

◆介護現場におけるリスクマネジメントとは、介護事故のリスクを把握し、組織的に管理することで事故を未然に防ぐことを目的とした活動

2) ヒヤリハット

◆事業所内で利用者に被害を与えてしまう可能性があるものを発見・把握するために、現場で挙げられたヒヤリハット報告書や事件事例報告書を参考に

3) 事故対応マニュアル検討

◆事故対応についての確認と実施方法検討を行った。

2月：虐待防止会議及び虐待防止委員会研修の内容

1) 事故報告及びヒヤリハット報告

◆ヒヤリハットの8月～2月までの報告件数は7件

◆事故の8月～2月までの報告件数は0件

◆苦情の8月～2月までの報告件数は0件

2) 権利擁護研修

◆虐待防止委員会が中心となり今回の研修実施

◆身体拘束の具体的行為と事例検討

◆身体拘束のスリーロック

◆身体拘束の事例検討

◆権利擁護マニュアル等の検討と確認

【会議報告】

※ 毎月の月例会議と定例会議の実施

2月：業務改善検討会議

1) 新型コロナウイルス5類感染症への移行

◆身体拘束新型コロナウイルス感染に伴う対応の継続について

<サービス利用中の対応について>

- ① マスク着用：5類に移行された場合も、サービス提供中は職員及びご利用者も今まで通りに着用して頂く、但しご入浴や食事などの時には会話を控えてマスクを外して頂く
- ② 席の配置：マスクを外す場面の食事などの場面では、間隔を空けて頂くが、他のサービス提供時には、通常の配置とする。
- ③ 消毒：5類移行後当面の間は、感染状況等を考慮しながら検討を行うが手指及び器具・車内などは、現状通りに対処する。
- ④ レクリエーション：感染者数等の状況を見ながら、徐々に通常のレクリエーションに移行する。
- ⑤ 送迎車内：基本的にマスク着用を継続して頂き、出来るだけ会話を控え、定期的な換気を行う。

- ⑥ 体温測定：継続してお迎え時の体温測定を行い、37.0℃以上の場合は、症状を確認して、ご家族等に受診や見守りをお願いし、基本的にはご利用を中止して頂く。

※ 感染者発生時の対応については、京都市（厚生労働省）等の通達に準ずる。

※ その他、状況に合わせた対応を検討する。

2月：満足度報告

(満足度調査結果)

- ・年2回の満足度調査を実施しています。

実施人数：男性4名 女性13 計17名(入院等の欠席者等を除く)

[調査内容]

	満足	普通	不満足	満足度
(%)				
1. ご利用内容	17名			100%
2. 食事内容	17名			100%
3. 送迎	17名			100%
4. 入浴	16名(1名入浴なし)			100%
5. 機能訓練	17名			100%
6. レクリエーション	17名			100%
7. 喫茶	16名(1名喫茶なし)			100%
8. 職員対応	17名			100%

◆喫茶・入浴に関しては、提供なしの1名を除いた16名でアンケート実施

◆今回も、全ての項目で満足との結果でした。(アンケートの回答結果から)

◆全てのご利用者様からのご意見をお聞き出来るように、全て個別に職員が対応して個々のご意見を調査致しました。

◆今後も全て満足を頂いただけのように利用者様の意見や要望を出来るだけ反映し、今後もサービス向上を図ります。

【事故・ヒヤリハット・苦情報告書】 調査期間8月～2月

ヒヤリハット報告件数：7件／苦情報告件数：0件／事故報告件数：0件

◆ヒヤリハット報告（詳細は報告書参照）

- ・令和4年8月31日：作成したカレンダーを持ち帰る際に、他のご利用者の物と間違えて渡してしまったことで、不隠になられた。

検討結果：渡す際には、必ず名前を確認してお渡しする。

- ・令和4年9月26日：服薬袋を返却する際に他のご利用者の連絡袋に入れてしまった。

検討結果：返却の際は間違えていないか再確認する。

- ・令和4年10月27日：体重測定の数値を間違えて57.6kgを75.6kgと記入した。
検討結果：前月と体重差が大きい場合など疑問がある場合は、再測定する。
- ・令和4年11月2日：お帰りの際に、杖を返し忘れた。
検討結果：再確認と職員2名で確認を行う。また、余裕を持って行動する。
- ・令和4年11月30日：他の職員が行ったと思い入浴前のバイタルチェックを忘れた。
検討結果：職員間の連携を密に行う。
- ・令和5年1月4日：担当者会議の日にちを間違えて伝えてしまい、ご本人に電話で訂正を伝えたが、記憶の修正が出来ずに待たれているとの電話があった。
検討結果：「明日」ではなく、〇〇日などと日にちで伝える。また、ご家族がおられる場合は、ご家族に伝えるようにする。
- ・令和5年1月27日：提供票の記入漏れの確認ミス
検討結果：発生原因を頭に入れて、分からない時には、過去の提供票と照らし合わせて確認する。

※今回は、事故及び苦情報告はなし

※上記、報告内容の共有と検討を行った。

※ いつもご協力ありがとうございます。

上記の運営推進会議資料をご覧いただき、ご評価及びご感想よろしくお願いたします。

※ 次回の第15回運営推進会議は、令和5年9月を予定しております。

< 評価及びご意見 >

- ◆ 参加者：大宅地域包括支援センター 1名
大宅学区民生委員児童委員協議会 1名
老人福祉員 1名

◆ 回答内容

【大宅地域包括支援センター】

< 評価 >

5類に移行された場合の対応についても記載されており、分かりやすかったです。また、事業所内の研修についても充実されている印象も受けました。満足度も高く利用者さん一人一人が、楽しく通所されているなど感じています。今後ともよろしくお願いします。

< 質問や要望 >

- ・特に無し

【大宅学区民生委員児童委員協議会】

< 評価 >

ヒヤリハット報告を細かくされており、利用者さんの勘違いをこちらの改善点と捉えておられる所から、とても親切な施設であることを伺える。ヒューマンエラーは完璧にはなくならないが、それに向き合い改善されている点や、ボディメカニクス採用やカスタマーハラスメント対策に積極的取り組み、職員さんを大切にされている点が素晴らしいと思いました。カスタマーハラスメントは職員さんがどうしても我慢されることと、判断が微妙なこともあるので、少しでも気になった利用者さんの言動を細かく報告・共有していただき、みなさんでハラスメントに当たるかどうかを判断して、職員さん同士守っていただきたいです。

< 質問や要望 >

このような素晴らしい施設なので、もっと利用者さんを増やすために、周辺地域に猛アピールしていただきたいです。こちらの報告及び評価のご依頼書を編集する際に、選択範囲のロックがかかっており、私も初めてのことでしたので、コピーして新しいファイルに貼り付けて利用いたしました。ロックされていないものを添付していただけると助かります。

【老人福祉員】

< 評価 >

先日は、防災訓練に参加させて頂きありがとうございました。約10年ぶりぐらいに消火器に触ったので少し戸惑ってしまいました。職員の皆さんは落ち着いてテキパキ動いておられ、さすがだなと感心しました。研修報告の中で、カスタマーハラスメントについての報告、興味深く拝見しました。その介護施設で出来ること・出来ないことがよくわかっていないために、ついわがまを言うってしまうのかもしれないですね。毅然とした態度で対応して頂いたら良いと思います。

< 質問や要望 >

- ・特に無し